

平成27年度 秋田県健康づくり審議会 感染症対策分科会

肝疾患対策部会 議事概要

- 1 日 時 平成27年7月6日(月) 自 午後6時
至 午後7時
- 2 場 所 秋田県議会棟2階 特別会議室
- 3 委員の出席
出席委員数：12名
欠席委員数：1名
- 4 議 事
 - (1) 報告事項
肝炎治療特別促進事業の実績
 - (2) 協議事項
 - ① インターフェロンフリー治療の医療費助成について
 - ② 肝疾患相談センター事業について
- 5 その他

議 事

開会宣言後、健康福祉部健康推進課がん対策室長のあいさつに引き続き議事に入った。

(報告事項について、事務局から説明。各委員から特に意見なし。)

(協議事項①について、事務局から説明のうえ、意見交換を実施した。)

○島委員 診断書は専門医が作成し、治療はかかりつけ医が行うことでよいか。

○倉光委員 その考えで正しいと思う。

○石川委員 治療については、専門医に診断してもらった上で、是非、かかりつけ医に紹介してほしい。

○島委員 受給者証の申請に添付される診断書の判定基準は。

○後藤委員 受給者証の申請に係る診断書の審査については、規定に則って判定している。

○小松部会長 私も規定に則って判定している。

○小松部会長 インターフェロンフリー治療における県が指定する診断書の作成医についてはどうか。

○後藤委員 診断書作成に当たっては、それなりの治療経験がやはり必要である。最近、診断書のウイルス型のセログループや肝硬変の場合 Child-Pugh 分類が選択されていないケースが多い。

○船岡委員 今のままで良いと思う。

○中島委員 今のままで良いと思う。

○小笠原委員 北秋田市に診断書作成医はいないが、治療対象者が100人くらいいると思われる。患者の掘り起こしが必要になる。

○倉光委員 治療期間は12週間であるが、受給者証の有効期間は4か月で発行するのか。

○事務局 月末から治療を開始するケースもあるので、4か月で発行する。

(協議事項②について、事務局から説明のうえ、意見交換を実施した。)

○後藤委員 保健師や栄養士は専任でなければならないか。

○事務局 専任ではなく、相談があった際に対応できれば良いと考えている。

○藤島委員 たぶんセカンドオピニオンの相談が多いと思うが、相談センターを、診察した患者さんに紹介しても良いか。

○後藤委員 ほとんど電話相談が多いので、紹介していただいて構わない。診察してもらった医師から、診断結果を聞かされたが、本当にそうなのかといったような相談が多い。

○藤島委員 患者からの相談内容を、フィードバックしてもらえないか。

○後藤委員 電話相談の場合匿名が多いので、フィードバックは困難だ。また、匿名だからこそ相談できることもあると思う。

(その他について、意見交換を実施した。)

○後藤委員 今年も肝炎コーディネーター研修会を実施するのか。

○事務局 今年も実施する予定である。

○後藤委員 肝疾患相談センターの事業内容が、栄養士等による相談なども行うことになっているので、栄養士も対象とした内容にしてはどうか。

○事務局 検討する。

○石川委員 7月26日の10時から秋田駅のぼぼろ一どにおいて、肝臓友の会で肝炎ウイルス検査啓発のチラシを配布するので、時間があれば皆さんにも参加してほしい。

○福田委員 先日、肝炎ウイルス検査のチラシと検査費用助成のチラシが送られてきた。検査費用助成のチラシは1,500部、去年も1,500部送られてきて、戸惑っている。検査費用助成のチラシを大量に作成するより、肝炎ウイルス検査の啓発をもっと充実させた方がよいのではないか。

○事務局 検査費用助成のチラシについては、一部の市町村から検診のお知らせと一緒に配布したいと申し出があったので、多めに送付した。来年度以降は、市町村に必要部数を確認するなどしてからチラシを作成したいと思う。

○小松委員 県では、検査を受ける方の利便性を高めるため、保健所において無料検査を実施している他、医療機関においても無料検査を実施している。これまでに検査を受けたことのない方には、一度検査を受けてみるよう促しているところである。検査受診者の掘り起こしは重要であると考えている。

○中島委員 次に出るフリーの新薬について、過去にフリー治療を行った者に対しても使用していいのか。

○倉光委員 今年の9月以降に1型に対して新たなインターフェロンフリー治療が登場する予定である。少なくとも現時点では、インターフェロンフリー治療に対する助成回数は1回のみと明確に規定されているので、そこが改訂されなければ新薬が出てもインターフェロンフリーの2度目の医療費助成は受けられない。新しいインターフェロンフリー治療薬が出た時点でその点に関しては厚労省より通達があるものと思う。

○部会長 新たな新薬について情報はないか。

○事務局 国からはまだ情報は来ていない。

—閉会—